

世帯所得別の
インフルエンザの予防ならびに治療行動
に関する
一般生活者 緊急1000人アンケート
結果報告書

平成24年11月19日

株式会社QLife(キューライフ)

調査の背景

インフルエンザの予防ワクチン接種はおおむね大人一回で3,000～3,500円の価格帯が多くみられる。(公的助成ない場合。2008年QLife調べ[http://www.qlife.jp/square/hospital/story875.html](http://www qlife.jp/square/hospital/story875.html))。これを負担に感じる生活者も多く、長引く景気低迷や経済格差の拡大で予防接種を受ける割合が減ると、集団感染リスクが高まり、接種メリットが減ることが危惧されている。そこで今回、QLifeでは、世帯所得別に、インフルエンザの予防接種や治療法について、意識や知識の違いを調査した。なお、今回の調査対象は、バイアスを排除するためにQLife会員ではなく、外部の大手リサーチ会社のモニターを活用した。

主な結論

「予防接種」は、世帯所得の多寡によって接種意欲やその理由に差が見られたが、「治療」は、薬剤に関する知識度合いや使用経験の面で、世帯所得差による傾向は特に見られなかった。

自費診療の「予防」で顕著な差が見られるのに、保険診療の「治療」で差が見られないのは、国民皆保険制度の恩恵と言えるだろう。逆に言うと、日本社会で「経済格差」が広がっている(ジニ係数の推移など)現代においては、病気の「予防」格差が生まれ始めており、特にインフルエンザのような感染症においては個人レベルだけでなく集団レベルでの格差が始まっている可能性がある。

結論の概要

- 1) インフルエンザ予防接種「既にした」「するつもり」は過半数に届かず。所得別で意欲に差
今シーズンのインフルエンザ予防接種の意向・実施について、「既にした」は11.4%。
「するつもり」を加えても46.2%と過半数に届いていない。また、世帯所得別で接種意欲に差があり、「既にした」「するつもり」と回答した401～600万円世帯が41.6%であるのに対し、1001万円以上世帯では51.4%と10ポイント近い差がついた。
- 2) インフルエンザ予防接種に半数以上が「高い」と感じている
予防接種の値段は、60.2%が「高い」と回答。1001万円以上世帯においても51.2%が「高い」と答えており、予防接種の費用対効果についても疑問を抱いていることが分かった。
- 3) インフルエンザの予防行動について、世帯所得間で「格差」が発生
世帯所得が401～600万円世帯と1001万円以上世帯において、予防行動に格差があることが分かった。「昨シーズンの予防接種の接種率」では8.4ポイント、「今シーズンでの接種意向」では8.8ポイント、「予防接種しない主たる理由が費用である」では16ポイント、「予防接種の値段が適正と思う」では16.4ポイントと差が見られた。
- 4) インフルエンザ治療薬や治療の注意点など、治療については世帯所得間の「格差」は無い
「解熱剤として特定の薬以外は使わない方が一般的に良い」など、インフルエンザ治療における患者側が注意すべき点の認識の割合や、インフルエンザ治療薬の認知・使用経験など、治療フェーズについては、予防フェーズで見られたような世帯所得間格差は見られなかった。

【調査実施概要】

▼調査主体

株式会社QLife(キューライフ)

▼実施概要

(1) 調査対象: 一般生活者

(2) 有効回収数: 1000人

(3) 調査方法: インターネット調査

※バイアスを排除するためにQLife会員ではなく、外部の大手リサーチ会社のモニターを活用

(4) 調査時期: 2012/11/9~2012/11/10

▼有効回答者の属性

(1) 性・年代:

	男性	女性	計
20代	21	24	45
30代	141	86	227
40代	293	124	417
50代	222	89	311
計	677	323	1000

	男性	女性	計
20代	3.1%	7.4%	4.5%
30代	20.8%	26.6%	22.7%
40代	43.3%	38.4%	41.7%
50代	32.8%	27.6%	31.1%
計	67.7%	32.3%	100.0%

(2) 性・世帯所得:

	男性	女性	計
401万円~600万円	168	82	250
601万円~800万円	177	73	250
801万円~1000万円	163	87	250
1001万円以上	169	81	250
計	677	323	1000

	男性	女性	計
401万円~600万円	24.8%	25.4%	25.0%
601万円~800万円	26.1%	22.6%	25.0%
801万円~1000万円	24.1%	26.9%	25.0%
1001万円以上	25.0%	25.1%	25.0%
計	67.7%	32.3%	100.0%

※総所得400万円以下の世帯については、十分な回収数の確保が出来ず、また様々な私的（親族仕送り等）&公的な援助の影響も想定されるため、今回は集計から除外した。

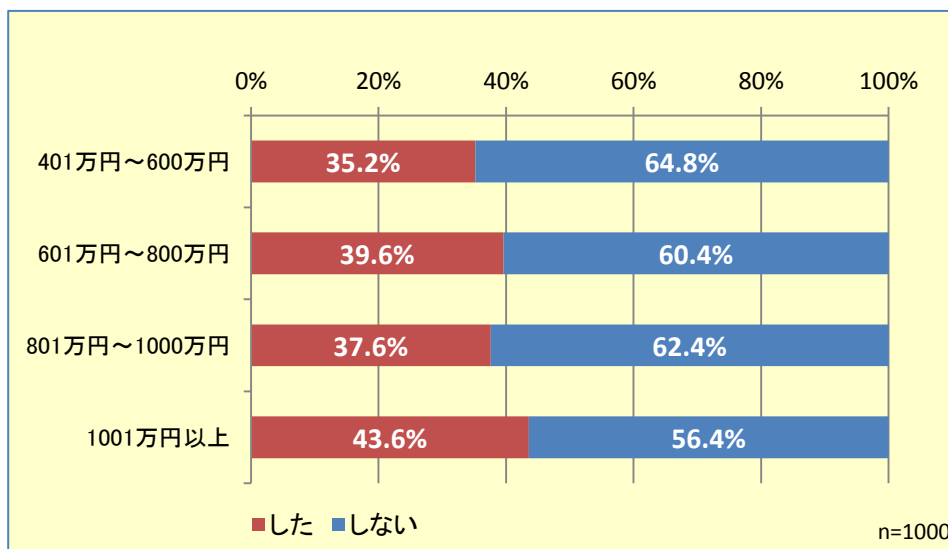
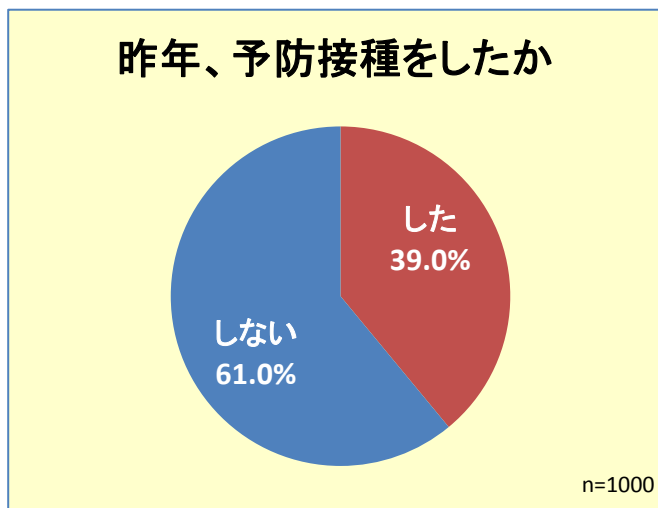
(3) 居住地:

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
3.3%	0.5%	0.7%	1.2%	0.7%	0.3%	1.3%	1.3%	0.9%	1.6%
埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
5.9%	6.7%	15.5%	9.6%	1.1%	0.5%	0.8%	0.4%	0.4%	1.0%
岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1.7%	2.3%	7.8%	1.0%	1.4%	1.4%	8.2%	6.6%	1.1%	0.6%
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
0.1%	0.4%	1.4%	2.4%	1.0%	0.3%	0.4%	1.0%	0.4%	3.0%
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県			
0.1%	0.5%	1.0%	0.8%	0.3%	0.8%	0.3%			

【Q1】昨年(2011～2012年シーズン)、あなたはインフルエンザ予防接種をしましたか。

2011～2012年シーズンにおける、インフルエンザ予防接種率について、全体で39%が「した」と回答。世帯所得別にみると、「予防接種をした」と回答したのが、1001万円以上世帯の43.6%に対し、401～600万円世帯では35.2%と約8ポイントの差が生じている。

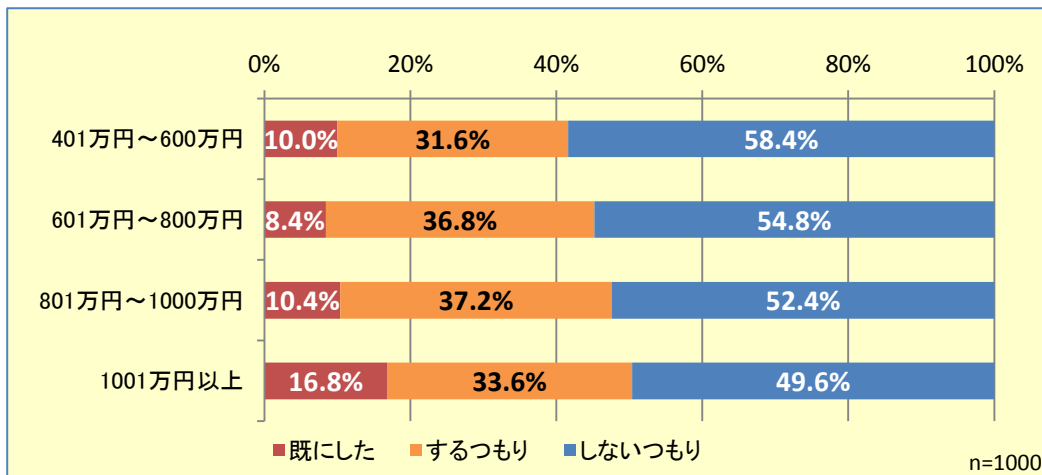
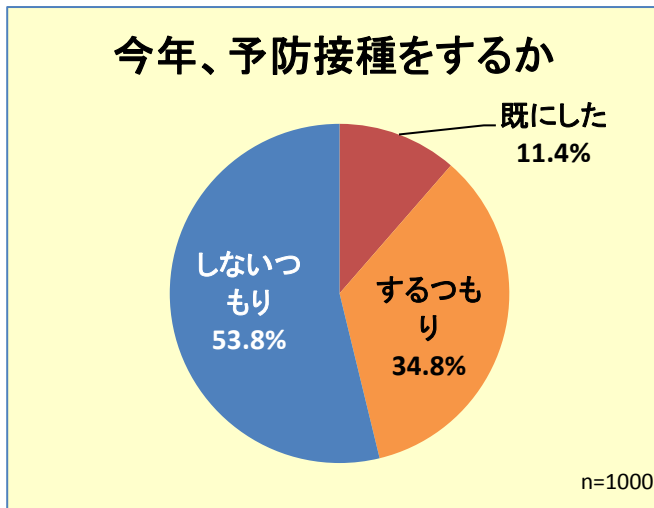
	した	しない	n	した	しない	%
401万円～600万円	88	162	250	35.2%	64.8%	100.0%
601万円～800万円	99	151	250	39.6%	60.4%	100.0%
801万円～1000万円	94	156	250	37.6%	62.4%	100.0%
1001万円以上	109	141	250	43.6%	56.4%	100.0%
全体	390	610	1000	39.0%	61.0%	100.0%



【Q2】今年、あなたはインフルエンザ予防接種をするつもりですか。

今シーズンのインフルエンザ予防接種の意向・実施について、調査を行った11月初旬の時点で「既にした」と回答したのは11.4%にとどまった。これに「するつもり」を加えても46.2%と過半数に届いていない。「時間が無い」「在庫が無かった」などの理由で、実際の接種率はもっと低くなると予想される。世帯所得別で接種意欲に差があり、「既にした」「するつもり」と回答した401～600万円世帯が41.6%であるのに対し、1001万円以上世帯では51.4%と10ポイント近い差があった。

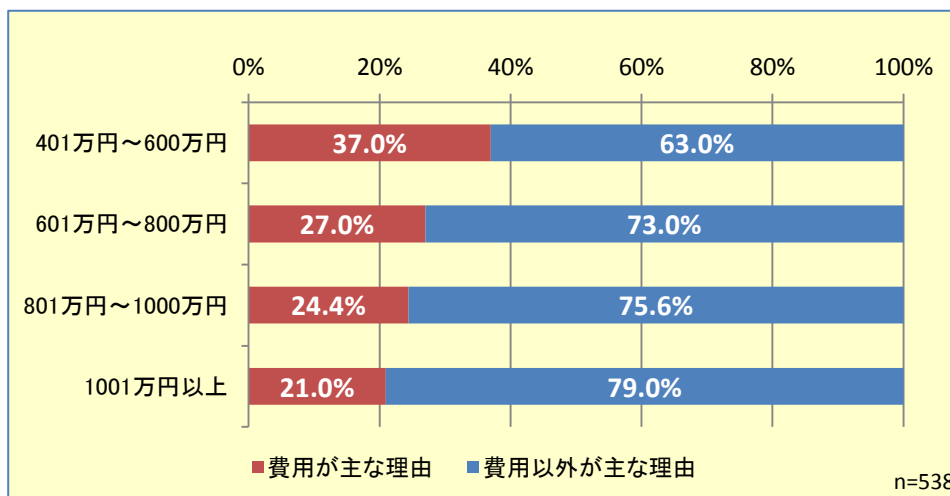
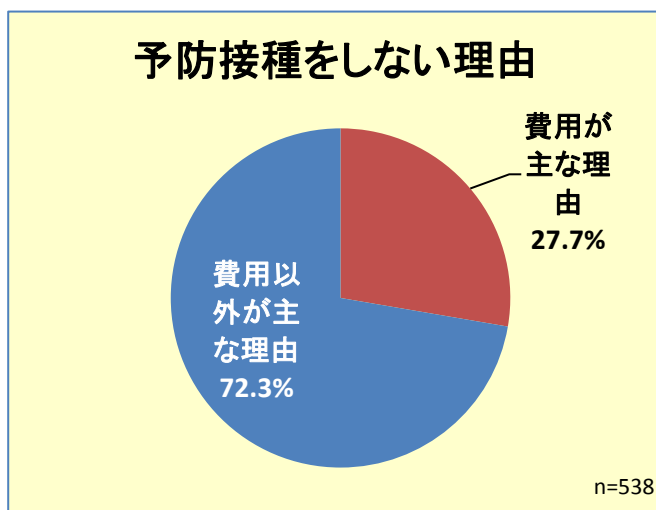
	既にした	するつもり	しないつもり	n	既にした	するつもり	しないつもり	%
401万円～600万円	25	79	146	250	10.0%	31.6%	58.4%	100.0%
601万円～800万円	21	92	137	250	8.4%	36.8%	54.8%	100.0%
801万円～1000万円	26	93	131	250	10.4%	37.2%	52.4%	100.0%
1001万円以上	42	84	124	250	16.8%	33.6%	49.6%	100.0%
全体	114	348	538	1000	11.4%	34.8%	53.8%	100.0%



【Q3】予防接種をしない理由は何ですか。近いものを選んでください。※Q2でしないつもりと回答した人のみ回答

予防接種をしない主たる理由について、費用面であるかどうかを聞いたところ、全体の72.3%が「費用以外が主な理由」と回答。しかし、401～600万円世帯では37.0%が「費用が主な理由」と考えており、1001万円以上世帯の21.0%と比較しても、予防接種の接種動機に占める費用面について格差が生じていることが分かった。

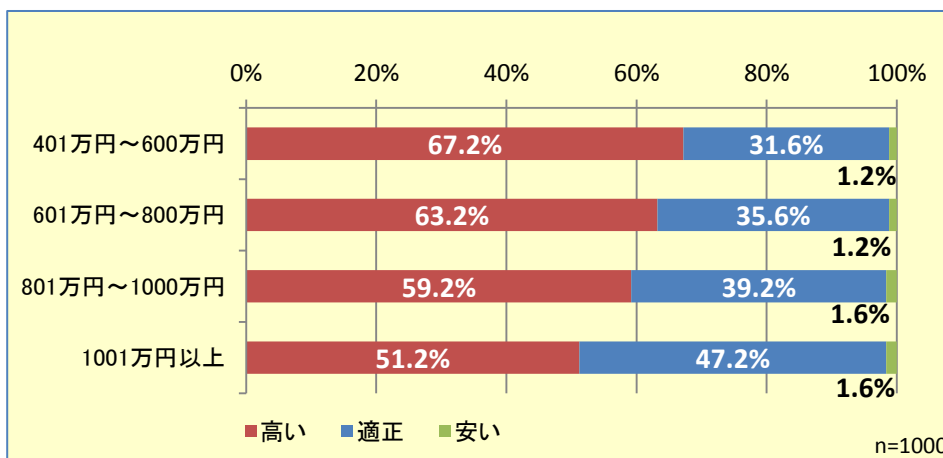
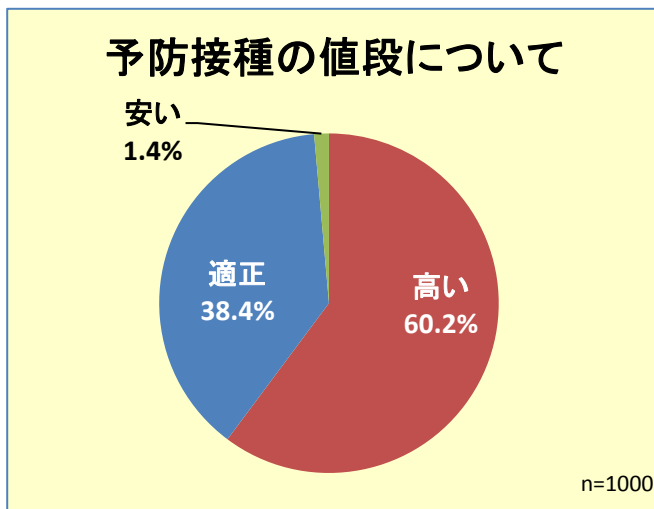
	主な理由が費用が	費用以外が主な理由	n	主な理由が費用が	費用以外が主な理由	%
401万円～600万円	54	92	146	37.0%	63.0%	100.0%
601万円～800万円	37	100	137	27.0%	73.0%	100.0%
801万円～1000万円	32	99	131	24.4%	75.6%	100.0%
1001万円以上	26	98	124	21.0%	79.0%	100.0%
全体	149	389	538	27.7%	72.3%	100.0%



【Q4】インフルエンザ予防接種の値段は高いと思いますか、安いと思いますか。近いものを選んでください。

予防接種の値段の納得感については、全体の60.2%が「高い」と回答。401～600万円世帯では67.2%が「高い」と感じており、「適正」と考える割合に比べダブルスコアとなった。世帯所得レンジの上昇に伴い、「高い」が減少し「適正」が増加。1001万円以上世帯では、「高い」と「適正」がほぼ同じ割合となった。

	高い	適正	安い	n	高い	適正	安い	%
401万円～600万円	168	79	3	250	67.2%	31.6%	1.2%	100.0%
601万円～800万円	158	89	3	250	63.2%	35.6%	1.2%	100.0%
801万円～1000万円	148	98	4	250	59.2%	39.2%	1.6%	100.0%
1001万円以上	128	118	4	250	51.2%	47.2%	1.6%	100.0%
全体	602	384	14	1000	60.2%	38.4%	1.4%	100.0%



【Q4】インフルエンザ予防接種の値段は高いと思いますか、安いと思いますか。近いものを選んでください。(続き)

インフルエンザ予防接種の費用の納得感について、代表的なコメントを以下に掲載する。

値段が高いと思う

- ・防疫なのだから無料は当然
- ・子供がいる家庭はもう少し安くしても良いのでは？
- ・効果が見えにくいから
- ・3500円では家計が厳しいときは接種を受けられない。
- ・3000円あったら1週間分の昼食代が・・・
- ・受験などの特段の理由がなければ受けるのをためらう
- ・国民の健康を守る観点であれば、千円台が妥当かと
- ・お年寄りから子どもまで皆が受けるべきものにしては高すぎる。
- ・社会に多大な影響を与える流行性疾患なのでもっと安価にすべき
- ・病院で値段が違うのが変
- ・家族が多いので2万円近くかかってしまう。
- ・シルバーには、補助金が出るのに、子供に出ないのが、納得出来ない。
- ・効くかどうかわからないのに、バクチと一緒にだ
- ・3500円で健康が保障されるのは安いかもしれないが、3500円あれば他に何が出来るか

適正だと思う

- ・何回か病院に通院する費用と比較した場合
- ・研究費は必要
- ・適正価格はわからないが、払えない金額ではないから。
- ・薬剤料と手数料を考えるとこれくらいだと仕方ないかと思う。
- ・安過ぎても、人が沢山殺到しそうなのでこれくらいが妥当だと思う。
- ・予防接種は何をうつにしてもこれくらいの値段はするものなので。
- ・昔はもっと高かった気がする
- ・自己管理が基本であり、免疫力の低下している高齢者や傷病者には適正な助成があるため。
- ・他の予防接種に比べれば安価

安いと思う

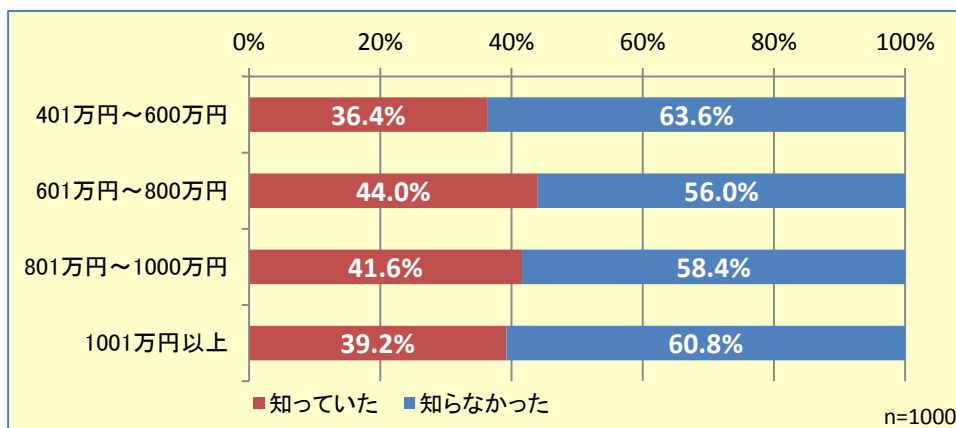
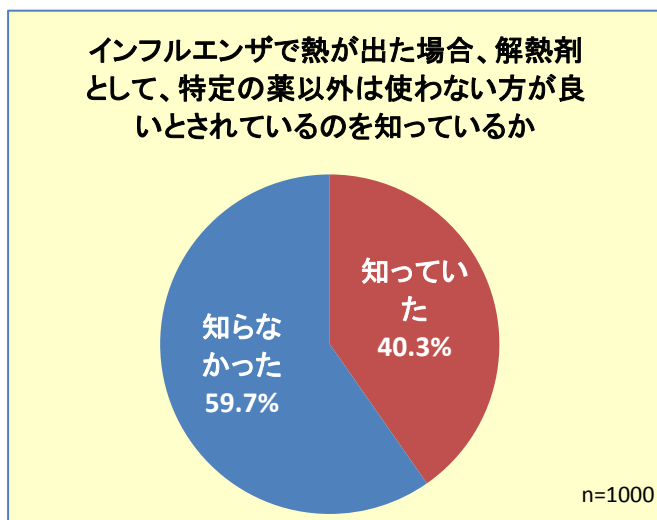
- ・副作用がなくて予防になるなら安い
- ・1週間仕事を休むより安い

【Q5】インフルエンザで熱が出た場合、解熱剤としては、特定の薬以外は使わない方が一般的に良いとされている(具体的にはアセトアミノフェン、特に小児においては)ことをご存知ですか。

※そのため、知人からもらった解熱剤は使わない方が良い

インフルエンザの治療フェーズで注意すべき点として、代表的な「解熱剤の使用」について聞いた。「知っていた」と回答したのは全体の40.3%。世帯所得別での傾向はみられなかった。

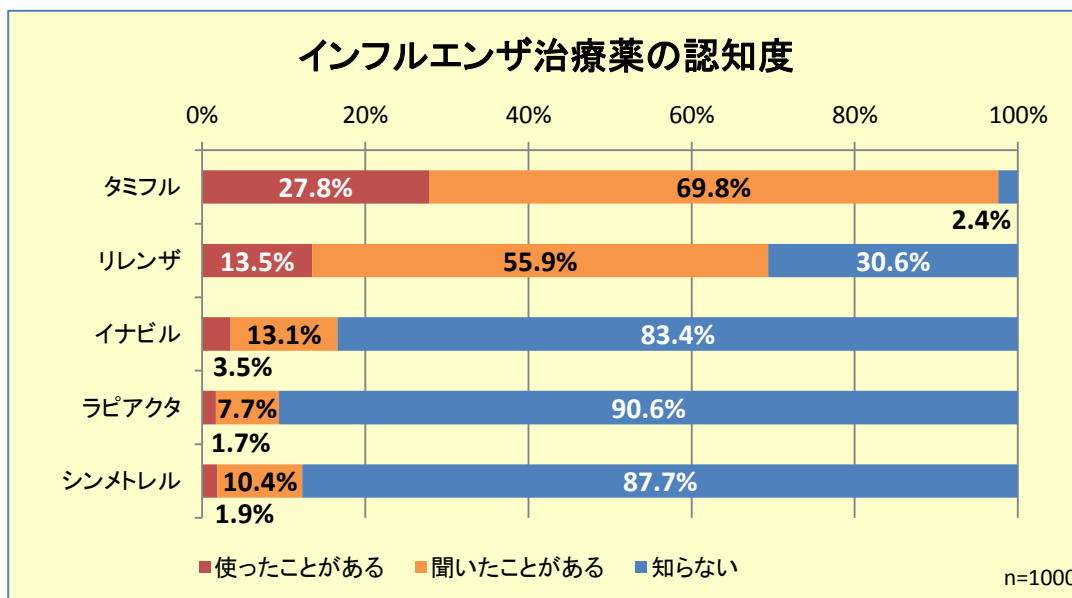
	知っていた	知らなかった	n	知っていた	知らなかった	%
401万円～600万円	91	159	250	36.4%	63.6%	100.0%
601万円～800万円	110	140	250	44.0%	56.0%	100.0%
801万円～1000万円	104	146	250	41.6%	58.4%	100.0%
1001万円以上	98	152	250	39.2%	60.8%	100.0%
全体	403	597	1000	40.3%	59.7%	100.0%



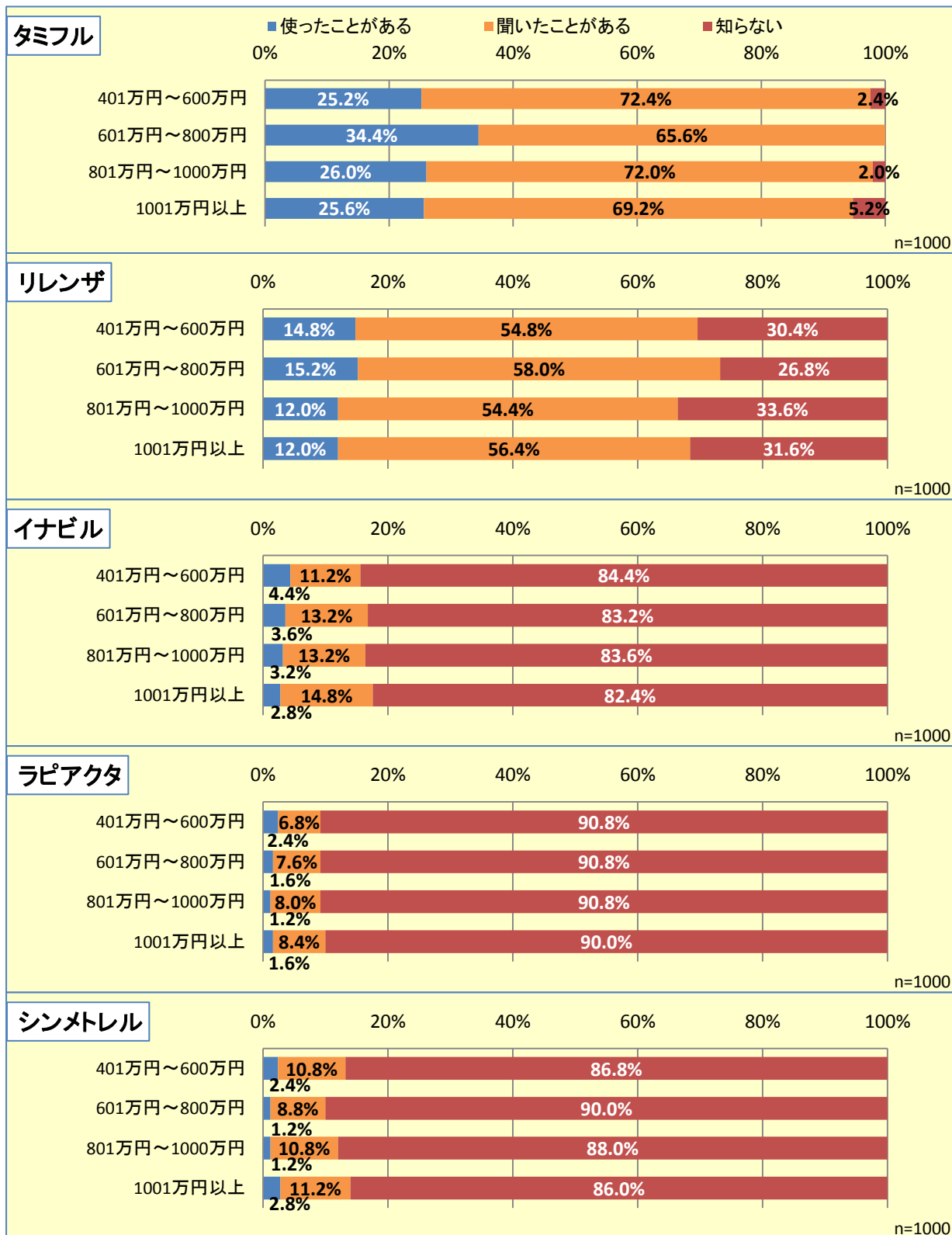
【Q6】次のインフルエンザ治療薬(抗インフルエンザウイルス薬)のなかで、聞いたことがある、使ったことがある(家族含む)ものを、教えてください。

インフルエンザ治療薬の認知度ならびに使用経験については、「タミフル」「リレンザ」が半数以上が「聞いたことがある」「使ったことがある」と回答。特にタミフルについては、97.6%が「聞いた」「使った」と回答している。次いで「イナビル」「ラピアクタ」「シンメトレル」の順となった。また、Q5と同様、世帯所得別で、認知・使用経験に関する大きな差は見られなかった。

	使ったことがある	聞いたことがある	知らない	n	使ったことがある	聞いたことがある	知らない	%
タミフル	278	698	24	1000	27.8%	69.8%	2.4%	100.0%
リレンザ	135	559	306	1000	13.5%	55.9%	30.6%	100.0%
イナビル	35	131	834	1000	3.5%	13.1%	83.4%	100.0%
ラピアクタ	17	77	906	1000	1.7%	7.7%	90.6%	100.0%
シンメトレル	19	104	877	1000	1.9%	10.4%	87.7%	100.0%



【Q6】続き 次のインフルエンザ治療薬(抗インフルエンザウイルス薬)のなかで、聞いたことがある、使ったことがある(家族含む)ものを、教えてください。



本調査に関するお問い合わせ先:

株式会社QLife 広報担当 田中 智貴

TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.co.jp

<株式会社QLifeの会社概要>

会社名 : 株式会社QLife(キューライフ)

所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂2-16-5 さいとうビル4F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006年(平成18年)11月17日

事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念 : 生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念 : 感動をシェアしよう!

URL : <http://www.qlife.co.jp/>
